

## 子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-1 子どもの権利の尊重

1-1-1 子どもの権利

				22.4月組 織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0701	1 重-1	<p><b>子どもの権利に関する条例の策定</b></p> <p>子どもの視点に立ち、子ども一人ひとりの最善の生き方を地域で実現することの基本となる「子どもの権利に関する条例」を策定する。 子どもの権利に関する条例策定委員会と引き続き連携しながら、条例策定に向けて市民の関心を高めるための広報活動をすすめていく。</p>	継続	子育て支援課	休止	子どもの権利に関する条例策定について、平成20年1月から調査・検討を重ねてきた。その間様々な意見をいただいたことにより、平成23年度から委員会の活動を休止した。
0701	2	<p><b>子どもの権利擁護のための啓発と広報の充実</b></p> <p>市報やホームページ等を通じて、子どもの権利擁護についての啓発を行う。 子どもが参加できる機会や時期をとらえ、子どもの権利について理解を深めるために、児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)及び子どもの権利に関する条例の啓発活動を充実する。同時に、子どもの権利について、職員・教員や市民への研修会の開催、情報提供及び広報活動に努める。</p>	継続	子育て支援課	実施	ホームページ等による広報
1503	教育指導課			実施	・東京都教育委員会が全教職員を対象に配布している「人権教育プログラム」の「児童の権利に関する条約(抜粋)」を活用し、市教委主催の教員を対象とした研修を行い、人権教育の指導方法の理解を深めた。	

0403		<p><b>人としての権利を尊重する教育の推進</b></p> <p>外国人や障害者・高齢者など、お互いの違いを認め合う意識を育む教育の推進と、すべての教育活動を通じた人権・障害者理解の取り組みを地域や学校で推進する。</p> <p>関係部署の連携を強化し、各学校に中核となる教員を育成する研修実施等を推進していく。</p> <p>(再掲)4-3</p>		文化振興課	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月16日 留学生ホームビジット</li> <li>・8月28日 日本語交流バストリップ</li> <li>・10月6日 「日本語スピーチコンテスト」</li> <li>・3月15日 「子ども対象 英語で楽しく！」</li> </ul>
0404	3		継続	協働コミュニティ課	継続	<p>「人権の花」「人権メッセージ」「人権作文」など小中学生を対象とした人権啓発活動を実施し、多数の生徒が人権について考える機会をもつことができた。(人権擁護委員との共催)</p> <p>また、人権バスハイク(国立ハンセン病資料館・多磨全生園の見学)を8月に「講演と映画のつどい」を12月に実施し、多数の市民が参加した。</p>
1503				教育指導課	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立学校において人権教育の全体計画及び年間指導計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を実施した。特に、総合的な学習の時間などで障害者理解の学習を行った。</li> <li>・人権教育推進委員会に各学校の担当者の出席を求め研修を実施し、その成果を各学校で周知した。</li> </ul>

## 子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-1 子どもの権利の尊重

1-1-2 子どもの生活支援

				22.4月組 織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0703	1 重-3	<b>児童館の再編成と機能の充実</b> 施設の建替えや改修を計画的にすすめる。 児童館を、乳幼児・障害児・中高生等の多様な ニーズに応えていくため、地域や役割ごとに機能 を特化・充実させ、夜間や休日にも利用できるな ど、魅力ある児童館へ再編成していく。 同時に、運営方法についても子ども参加を推進し たり、民間活力を導入する。子ども自身からの相談 を受け止める児童館としての特性を十分に活か し、相談事業をより一層推進していく。  (再掲)1-2-2、4-1-1、4-4	継続	児童青少 年課	継続	・今年度、児童館再編成計画に おける一部施設について計画を 実施した。 ・子ども参加による事業企画等 についても引き続き進め、サービ スの拡充を図った。
0703	2 重-6	<b>青少年センター機能の整備</b> 児童館の再編成の中で、中高生や青少年の居場 所施設としての青少年センター機能を付加した特 化型児童館を整備していく。 青少年自身の企画・運営への参加を検討すると ともに、青少年の学校外活動の情報収集、情報提 供、子どもに関する相談活動等を行い、インター ネット等を利用して活動の情報を提供する	継続	児童青少 年課	継続	中高生が主体となり企画運営を 行い、日頃の取組みの成果を発 表する場を作るなど、中高生年 代にも対応した特化型児童館と しての特質を生かした取組みに も力を入れている。

0704	<p>家庭教育支援事業の推進</p> <p>親自身が親役割を理解し、主体的に家庭教育に取り組んでいく力をつけていけるよう、学校・保育園・幼稚園・児童館・学童クラブ・公民館等が連携し、家庭教育支援事業に取り組む。</p> <p>また、家庭の教育力を高める方策の一つとして、家族それぞれが多様な形で参画可能な事業展開を推進する。</p> <p>(再掲)3-2-2(1)</p>	<p>子ども家庭支援センター</p>	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹型保育園と連携し、子育て情報の提供を行った。</li> <li>・子育て広場で父親に対する支援事業を12回実施した。</li> <li>・子育て広場(のどか広場)で、0歳児とその保護者を対象とした支援事業を10回実施した。</li> </ul>	
0702			保育課	実施	<p>基幹型保育園において、グループ交流、子育て講座を実施し、子育て家庭の支援を行った。</p> <p>述べ利用数28,400人の参加があった。</p>
0703			児童青少年課	継続	<p>0歳から御参加いただけるプログラムを用意した「幼児のつどい」や、児童館における各種イベント等を通じ、就学前の親子も気軽に参画できる場所作り、環境作りに取り組んでいる。</p>
0605			健康課	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリー学級(1コース2日間)を全て土曜日を含むコース制で実施した。家庭での夫婦それぞれに期待されることや役割等をイメージできるように心がけた</li> <li>・各種健診、相談会、訪問等の機会を通じ、家庭支援を継続して実施した。</li> </ul>
1603			公民館	継続	<p>子育てに関する講座を6講座、述べ76回、親子がふれあう機会を提供する講座10講座を述べ27回実施した。</p> <p>「育メンバパパとクッキング」を実施し、父と子15人が参加した。</p>
	3	継続			

## 子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-1 子どもの権利の尊重

1-1-3 子どもの救済

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0701	1 重-1	<p><b>オンブズパーソン制度(いじめなどからの子ども救済システム)の具体的検討</b></p> <p>いじめや不登校など、何らかの問題に遭遇した子どもたちからの相談が身近な場所でいつでも安心してできるよう相談体制を充実させる。子どもの権利侵害に対して相談を受け、権利侵害があった場合に実態の調査・勧告・提言の権限を持って子どもに寄り添った対応をするため、子ども自身が相談できる子どもオンブズパーソンを具体的に検討する。</p>	継続	子育て支援課	継続	調査検討
0704	2 重-11	<p><b>要保護児童対策地域協議会の活用</b></p> <p>要保護児童対策地域協議会の一環としての「実務者会議」を充実させ、ブロックごとに要保護児童等への支援が提供できるしくみを整備していく。虐待される子どもの救済に迅速・有効に行動できるよう、関係機関のネットワークを強化していく。</p>	継続	子ども家庭支援センター	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実務者会議を充実させるため基幹型保育園地域子育て支援センターの構想とリンクした形で、各ブロックで実務者会議を実施した。</li> <li>また、実務者を対象とした研修会にて、今後の実務者会議等に関するアンケートを実施した。</li> <li>・個別ケースの支援を協議するためケース検討会議を82回実施した。</li> <li>・ケースの支援内容を確認するため、母子保健機関や教育機関等と進行管理会議を行った。</li> </ul>
0704	3	<p><b>虐待・虐待再発防止のための学習機会の検討</b></p> <p>虐待や虐待の再発を防止するため、親を対象とした学習の機会等を充実させる。</p>	継続	子ども家庭支援センター	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童虐待防止月間中に、市民まつり参加者及び子育てフェスタ参加者を対象に、虐待防止普及活動を実施した。</li> <li>・児童虐待防止月間の開始日に、株式会社田無タワーの協力のもと、スカイタワー西東京をオレンジ色(児童虐待防止テーマカラー)にライトアップし、啓発を行った。</li> <li>・庁内案内掲示板に児童虐待防止月間について掲載し、啓発を行った。</li> </ul>
0704	4	<p><b>里親制度(養育家庭)の推進</b></p> <p>その役割や拡充が一層求められる傾向にある養育家庭・里親制度について広報・啓発をさらにすすめるため、関係部署との連携協力に努める。</p>	継続	子ども家庭支援センター	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養育家庭体験発表会を開催し、参加者は29名であった。</li> <li>・東京都作成の啓発ポスターを関係機関に配布した。また、養育家庭体験発表会を市広報及びホームページに掲載することにより、制度の啓発を行った。</li> <li>・庁内案内掲示板に養育家庭普及月間及び体験発表会について掲載し、啓発を行った。</li> </ul>

# 子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-1 子どもの権利の尊重

1-1-3 子どもの救済

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
1505	5	<b>スクールカウンセラー派遣の充実と連携の強化</b> 中学校には、東京都のスクールカウンセラーが配置されているが、同様に小学校にも配置されるよう東京都に要請していく。また、小学校に派遣している心理カウンセラーとの連携を強化し連絡会を開催するなど、いじめや不登校等の問題に対応する体制づくりを一層推進する。 (再掲)4-3	継続	教育支援課	充実	全市立小・中学校に東京都のスクールカウンセラーが週1回、年間35回配置され、体制が整った。市からは小学校に教育相談センターの心理カウンセラーが月2回巡回し、教育相談センターの種々の相談・支援や、市の関係機関との連携を強化し、スクールソーシャルワークの機能を果たした。また、連絡会を開催し、スクールカウンセラーと教育相談センターや市関係機関の職員と情報交換を行い、学校を支援する体制を強化することに努めた。
0703	6	<b>地域アドバイザーの活動支援と連携の強化</b> 小学校や児童館などで活動している心の東京革命推進協議会地域アドバイザーとの連携を強化し、活動の支援を推進する。	継続	児童青少年課	継続	児童館が行う子育てひろば事業の一貫として「のびのび親子」と題した子育て支援事業を実施するなかで最終回において「心の東京塾」を実施した。 ・ぼしあーも（早期からのしつけ後押し事業）
1505	7	<b>スキップ教室(適応指導教室)の充実</b> いじめや情緒的混乱、学業不振等により不登校になっている子どものためのスキップ教室(適応指導教室)を充実し、学習支援や学校生活復帰への援助を在籍学校と連携して行う。入室児童・生徒数の増加に対応するため、教員・教室の整備等を長期的展望に基づいて推進する。	継続	教育支援課	充実	スキップ教室の入室時の体験やガイダンス面接を充実させ、スキップ教室への通室目標や指導方針を明確にした。事例検討会議により、児童・生徒理解と対応の共有化を図った。指導員が不登校対策委員会に毎回出席し、教員との情報交換を行い、通室児童・生徒の対応だけでなく、まだスキップ教室を利用していない不登校傾向の児童・生徒への対応についても、教員への助言を行った。
0704	8	<b>子ども自身からの相談に対応できる相談システムの検討</b> 子どものための相談窓口について子どもからの認知度が上がるように広報活動を強化する。子どもが相談しやすい方法を探るため、電話・インターネットで相談できる体制を検討する。	継続	子ども家庭支援センター	継続	・小学5年生・中学3年生にのどか携帯用カードを約4,000部、小学4年生以上中学3年生以下にリーフレットを約10,000部配布した。 ・市ホームページのキッズページに子ども家庭支援センターの案内を継続して掲載した。 ・市民まつり及び子育てフェスタで、のどか及び児童相談所のパンフレットを配布し、相談先についてのPR活動を行った。
1999				関係各課		

## 子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-1 子どもの権利の尊重

1-1-3 子どもの救済

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0701	9	子ども自身が身を守るための学習プログラムの推進  子どもが犯罪の被害者にならないように、子ども自身が暴力から自分の身を守ることを学習するプログラムの実施を推進する。	継続	子育て支援課	継続	検討
1999				関係各課		

# 子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

## 1 子どもの参加

### 1-2子ども自身の参画への支援

#### 1-2-1子どもを支える地域のシステム

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0703	1 重-2	<b>子どもによる子どものための企画づくりと事業運営の推進</b> 児童館や公民館、地区会館、いこいの森公園など、公共施設の事業企画・運営・利用への子ども参加や子どもだけで利用できる方法を検討し、子どもが遊びたいような遊び場について具体的に検討する。指定管理者に管理を委託している施設については、次期指定管理更新時期等に子どものための事業に関する提案を管理者に依頼することを検討する。 また、子どもの意見を聞く場として、子どもへのヒアリング、意見発表会、子ども議会などを具体的に検討する。	継続	児童青少年課	継続	・児童館行事の一つの「中高生年代プロジェクト」等において、中高生年代が実行委員会を組織し主体的な発想の運営を引き続き実施した。 ・中高生年代が企画運営し、ダンスやバンド活動等の発表の機会をつくり、今年度は2回目の開催となった。 ・児童館運営においても児童による企画づくりの場の検討を行った。
1603				公民館	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体であれば、団体登録が可能であり、部屋の利用を認めている。 ・保谷駅前公民館の音楽練習室は、若者の利用が定着している。
0403				文化振興課	継続	子どもだけではなく、子どもを含めた世代間交流を目的としたイベント等については、市民交流施設指定管理者において実施している。
0802				みどり公園課	検討	検討
0701				子育て支援課	検討	検討
1999				関係各課		
0703	2 重-3	<b>児童館の親子で参加できる行事や企画の充実</b> 児童館事業として、親子で参加できる行事や企画を今後も継続し、充実する。	継続	児童青少年課	継続	・ひろば事業や幼児親子対象のサークル活動、父親と参加するイベントなどを開催した。 ・児童館のアピールも含め、茨城県行方市(災害時相互応援協定締結市)へ親子参加型農業体験事業を実施している。

**子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票**

1 子どもの参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-1子どもを支える地域のシステム

				22.4月組織改正	25年度	
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0703	3 重-2	<p><b>子ども調査の推進</b></p> <p>子どもたちがいつも使う施設について、利用のしやすさや事業内容等を定期的に評価し、改善提案等をしていく子ども調査の継続と意見反映システムを、魅力ある施設づくりのための条件と位置付けて推進する。</p>	継続	児童青少年課	継続	多様なニーズと魅力ある児童館事業を運営するため、これまで行ってきた中高生の意見や声を反映させていく場を基に、子ども自らが評価する方法について検討した。
1604				図書館	継続	「西東京市子ども読書活動推進計画」の中間報告の作成とあわせ、乳幼児の子どもをもつ保護者、全市立小学校2・5年生と全市立中学校2年生の各1クラスの児童・生徒に対して、読書に関するアンケート調査を実施した。図書館の事業評価について、内容の見直しを行い、事業評価を実施した。

**子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票**

1 子どもの参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-1子どもを支える地域のシステム

				22.4月組織改正	25年度		
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取組内容	
0703	4重-16	<b>防犯対策の充実</b> 市内の公・私立学校関係者による連絡会の設置や合同パトロール・下校時間における防犯パトロールの実施、民生委員・児童委員、青少年育成会との定期的な協議と内容の充実を図る。 また、不審者情報のネットワークづくりをすすめ、市内の犯罪発生状況に応じた各種情報を発信・共有するしくみを構築する。 「できる人ができる時に・地域の目を光らせる見守り活動」を根付かせ、地域の防犯力を向上させることを通じて子どもへの見守りを強化する。 防犯講演会などの啓発活動を実施して、防犯意識の高揚を図る。	継続	児童青少年課	継続	・青少年育成会による通学路における「あいさつ運動」や「合同パトロール」などへの活動支援を実施している。 ・「子ども110番ピーポーくんの家」の活動を通じ、危機管理室や市内全小学校及び中学校と連携し、不審者情報等の共有を図った。	
1503				(再掲)4-4	教育指導課	実施	・市内全小学校の安全連絡会において、引き続き、地域支援による安全確保の取組を行った。 ・スクールガードリーダーを委嘱して全校を巡回して指導し、より安全対策の質を高める取組を行った。 ・安全教育の充実を図り、危険を予測し回避する能力を身に付けさせる指導を行った。
0411					危機管理室	継続	・下校時間帯における青色防犯パトロールの実施 ・GW、全国地域安全運動期間中における地域合同パトロールの実施 ・市報、ホームページ、各小学校に設置している防犯掲示板による広報啓発活動 ・防犯活動団体への補助金交付及びリーダー連絡会の開催 ・小学校における地域安全マップ作製支援の実施 ・犯罪発生時における防犯活動団体などへのパトロール強化依頼の実施
1999					関係各課(警察)		

## 子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

### 1 子どもの参加

#### 1-2子ども自身の参画への支援

##### 1-2-1子どもを支える地域のシステム

				22.4月組 織改正	25年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0703	5 重- 16	<b>子どもと子育て家庭の防災防犯安全を確保する事業の推進</b>  災害が発生した際に子どもと子育て家庭への支援を実施する体制を整備する。子どもがふいに襲われたりしたときなどに逃げ込める家を公募し、ステッカーなどを貼ってもらい、子どもの避難所とする事業(子ども110番ピーポくんの家)を引き続き推進すると同時に、ピーポくんの家活動に対する市民の理解を得るための啓発活動を実施する。小学校区の地域単位に安全確保のための見守り活動の組織化を促進し、地域住民と子ども自身による通学路の安全点検活動を推進する。  (再掲)4-4	継続	児童青少年課	継続	・学童クラブ事業における災害時のインターネット上掲示板「安心伝言板」サービスのさらなる普及促進を図った。 ・「子ども110番ピーポくんの家」活動への支援の継続と市民周知を図った。
0411		危機管理室		継続	・災害時要援護者登録名簿登録申請の受付 ・公的関係機関等への災害時要援護者名簿の提供 ・災害時要援護者個別支援モデルプラン作成 ・救急医療情報キットの配布	
0703	6 重-3	<b>プレイリーダーの養成と活用</b>  プレイリーダーの育成事業を実施する。また、小学校での「遊びの学校」事業や、地域の子ども遊び支援グループなどに対する、プレイリーダー(子どもの遊びや活動の支援者)派遣事業を推進していく。また、中学生対象の遊びの事業を充実する。  (再掲)1-2-2、3-2-2-(1)、4-4	継続	児童青少年課	継続	・民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、近隣の大学や高校に働きかけを行い養成講座を実施した。 ・市内の野外活動系のNPO団体等との連携を図り、児童館を中心とした地域全体で子どもへ遊びを提供できるような仕組みを提供した。
1601		社会教育課		なし	プレイリーダの育成・活用については検討できなかった。	

## 子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

### 1 子どもの参加

#### 1-2子ども自身の参画への支援

##### 1-2-1子どもを支える地域のシステム

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0402	7	<b>農業体験の拡充</b> 市内農業者の協力により、イベント等を通じて、土とふれあいながら農家の人と一緒に作付けや収穫などを体験できる機会を拡充する。 (再掲)1-2-2	継続	産業振興課	実施	・「親子で野菜づくりにチャレンジ」事業を実施。参加者は、親子20組40名。 ・「西東京市都市と農業が共生するまちづくり事業実施計画」に基づく、【農のアカデミー体験実習農園】圃場での児童センター・幼稚園・小学校単位での参加による農業事業を実施。延べ2,000人以上の事業参加があった。
0703	8	<b>青少年育成会への支援の充実</b> 青少年育成会の活動支援とともに、相互の交流活動等を支援することで、子ども同士や親も含めた地域社会との関わりをより広く体験できるようにする。	継続	児童青少年課	継続	・青少年育成会への支援を継続実施した。 ・青少年育成会の広報活動を支援した。 ・青少年育成会連絡会全体会事業「歩け歩け会」への支援を継続的に実施した。
0701	9	<b>地域の子育て協議会の設置</b> 子育て家庭同士、さらには地域で子育てに関心を持っている人々をつなぐ「子育てグループの集い」を開催する等、地域のつながりを深める交流事業を検討する。	継続	子育て支援課	実施	子育てハンドブックに子育て関連団体の情報を掲載

**子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票**

1 子どもの参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-1子どもを支える地域のシステム

				22.4月組織改正	25年度	
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0404	10	<p>子育ての仲間づくり、子育てNPO・グループ等の支援の充実</p> <p>市民協働推進センターと地域活動情報ステーションを核として、「子育てひろば」などから生まれた親子グループの自主的な活動の支援や、学童クラブの午前開放など、場所と情報の提供により、子育て中の親たちが気軽に集い、打ち合わせ、情報交換できる場づくりに努める。</p> <p>子育てサービスの提供機会を増やしその選択肢を広げるため、子育てNPOや子育てグループ等の活動環境を充実させる。</p> <p>(再掲)3-2-1</p>	継続	協働コミュニティ課	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO等企画 提案事業を通して、子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体の活動を支援した。</li> <li>・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民が、市民活動に参加しやすい環境の充実を図るため、市民協働推進センターを活用した。</li> <li>・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民の情報環境を整備するために、地域活動情報ステーション(市民活動支援ホームページ)を活用した。</li> </ul>
				保育課	実施	<p>基幹型保育園に設置された地域子育て支援センターにおける子育て家庭や親子グループの交流の場の提供。また、保健師や栄養士のコメントを載せた情報誌を発行した。</p>
				子ども家庭支援センター	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2か所の広場で気軽に集える親子の交流の場を提供した。</li> <li>・父親支援事業を12回行い、延445人が参加した。</li> <li>・絵本事業を21回実施した。</li> <li>・0歳児とその保護者を対象とした事業を10回実施した。</li> <li>・子育てグループ活動室の貸し出しを行い、延411グループが利用し、活動した。</li> </ul>
				児童青少年課	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全児童館において子育て支援事業を継続的に実施した。</li> <li>・単設の学童クラブ施設を活用した乳幼児親子を対象とした出前児童館事業も継続的に実施した。</li> <li>・市民と共催で地域での子育てをテーマにした「こそだてフェスタ」を実施し、子育て世代への支援を展開した。</li> </ul>
				社会福祉協議会	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動拠点での学生の子育てグループを支援した。</li> <li>・「歳末たすけあい・地域福祉募金」の配分金を活用して、子育て(支援)グループに助成金を交付した。(3団体)</li> <li>・子育てサロン開設講座修了者のサロン立ち上げ支援等</li> <li>・居場所づくり講座を実施し、世代間交流からの支援</li> <li>・子育てグループの情報をホームページに掲載して情報提供を行う。</li> <li>・子育てフェスタに協力(子育てフェスタ、子育てサークルマップ参加団体リストをホームページに掲載)</li> </ul>
0702						
0704						
0703						
2002						

**子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票**

1 子どもの参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-1子どもを支える地域のシステム

				22.4月組 組織改正	25年度	
所管 課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0402	11	<b>地域通貨の活用の検討</b> 子どもたちが地域でのボランティア活動などを通じて社会参加できるしくみとして、地域通貨の活用を「産業振興マスタープラン」の策定内容と連携して検討する。	新規	産業振興課	実施	西東京商工会が発行する西東京市プレミアム商品券事業について、平成25年11月17日から平成26年1月31日を使用期限とする補助事業を実施した。 「市内共通スタンプ(ICカード)等の調査・研究」については、産業振興マスタープラン推進委員会において検討したが、商店街側からのニーズがなかったことなどから、中期計画の実施事業には選定しなかった。
0701				子育て支援課	検討	調査検討

**子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票**

1 子どもの参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-1子どもを支える地域のシステム

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	25年度	
				担当課	実績	具体的な取組内容
1601	12	<p><b>地域の人材発掘・活用の推進</b></p> <p>子どもたちの地域での育ちを豊かなものにするため、さまざまな立場の市民が自分の経験や知識を生かして子どもたちに技や学びを伝えられるよう、地域人材の情報提供や、人材が活躍できる機会づくりを促進する。人材発掘と人材活用事業の推進を並行して実施し、都立高校との連携や小中学校対象の各種教室の開催等を引き続き実施する。</p> <p>(再掲)3-2-1、4-3</p>	継続	社会教育課	実施 充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材情報の収集整備を行った(平成26年3月31日現在66人、116件登録)</li> <li>市民の人材情報の活用を促進するため、生涯学習人材情報登録者の自主企画講座一覧(平成26年3月31日現在30人から49講座の登録)を作成し、公民館・学校等関係機関へのPR、周知を図った。</li> </ul>
				社会福祉協議会	実施	都立高校の奉仕活動授業での講演(保谷)。 小学校での総合的な学習の時間における福祉体験授業(11校40プログラム、車椅子体験・アイマスク体験・手話体験・点字体験・視覚障がい者講演・盲導犬利用者講演)を登録ボランティア・ボランティア団体などと実施。
				シルバー人材センター	実施	小中学生対象各種教室の開催(継続) <ul style="list-style-type: none"> <li>東伏見教室</li> <li>その他教室                             <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生習字</li> </ul> </li> <li>西原教室                             <ul style="list-style-type: none"> <li>学習教室                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生算数・国語</li> <li>中学生英語・数学</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
				関係各課		
1999						
0701	13重-2	<p><b>ファシリテーターの養成と活用</b></p> <p>社会活動への子どもの参加を促進するために、ファシリテーターの育成事業を検討実施する。また、子どもの意見を取り入れ、参加を促進する場面へのファシリテーターの活用を検討していく。</p>	新規	子育て支援課	検討	検討

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-2集う・遊ぶ・学ぶ

				22.4月組 組織改正	25年 度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0403		<b>子どもの公共施設利用促進の方法の検討</b> 公共施設や事業の企画・運営・利用への子どもの参加や、年齢に応じた子どもだけの利用を進める。 また、利用料の減免、利用申込資格など、子どもが利用しやすい運営を検討する。	継続	文化振興課	実施	指定管理者4館（南町、緑町、芝久保、ふれあい）と東伏見コミセンにおいて、子どもが利用しやすいようにロビーや会議室を一部開放している。特に、東伏見コミュニティセンターでは、集会室や調理室を子どもに貸出し、音楽やダンスの練習のほか、自己学習をする場所として定着している。
0703	児童青少年課			継続	児童のニーズ把握や意見交換を行い、職員の発想を加えた児童が利用しやすい運営に努め、児童館利用の促進を図った。	
1603	1 重-2			公民館	継続	継続的な利用を行う高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。また、学級活動などの利用については、単年度での団体登録も可能としている。利用は、無料
0101				企画政策課	実施	子どもを含めた幅広い世代の利用状況や施設の配置バランス等を考慮しながら、施設分野ごとに公共施設の適正配置・有効活用について、具体的な取組を進めていく際の手順や留意点、各年度の取組目標を定めるため、3か年の実行計画を策定した。
1999				関係各課		
0703		<b>子どもによる子どものための企画づくりと事業運営の推進(再掲)</b> 児童館や公民館、地区会館、いこいの森公園など、公共施設の事業企画・運営・利用への子ども参加や子どもだけで利用できる方法を検討し、子どもが遊びたいような遊び場について具体的に検討する。指定管理者に管理を委託している施設については、次期指定管理更新時期等に子どものための事業に関する提案を管理者に依頼することを検討する。 また、子どもの意見を聞く場として、子どもへのヒアリング、意見発表会、子ども議会などを具体的に検討する。 ◆詳細は、1-2-1 に同じ	継続	児童青少年課		
1603				公民館		
0403	2 重-2			文化振興課		
0802				みどり公園課		
0701				子育て支援課		
1999				関係各課		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-2集う・遊ぶ・学ぶ

				22.4月組 組織改正	25年 度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0802	3 重-2	子ども参加型ですすめる遊び場づくりの推進 公園等の遊び場の設置・改善を子どもが企画等を中心に行う子ども参加型ですすめ、子どもが遊びたくなるような遊び場について具体的に検討する。	新規	みどり公園課	検討	検討
0701				子育て支援課	検討	検討
0703	4 重-2	子ども参画による生涯学習事業の推進 子どもが対象となる生涯学習事業については、児童館や公民館等と連携し、企画・運営への子ども自身の参画の推進を図る。	継続	児童青少年課	継続	多様な児童館行事(こどもまつり、児童館キャンプ、中高生年代プロジェクト等)において、子ども自らの主体的な企画・運営への参画を支援した。
1603				公民館	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体であれば、団体登録が可能であり、部屋の利用を認めている。 ・保谷駅前公民館の音楽練習室は、若者の利用が定着している。
0703	5 重-3	児童館の再編成と機能の充実(再掲) 施設の建替えや改修を計画的にすすめる。児童館を、乳幼児・障害児・中高生等の多様なニーズに応じていくため、地域や役割ごとに機能を特化・充実させ、夜間や休日にも利用できるなど、魅力ある児童館へ再編成していく。同時に、運営方法についても子ども参加を推進したり、民間活力を導入する。子ども自身からの相談を受け止める児童館としての特性を十分に活かし、相談事業をより一層推進していく。 ◆詳細は、1-1-2に同じ (再掲)4-1-1、4-4		児童青少年課		
0703	6 重-3	「遊びの学校」事業の検討・実施 現行の小学校の校庭開放、地域生涯学習事業、出前児童館との連携を図りながら、放課後の子どもの安全・安心の活動拠点、居場所事業として「遊びの学校」事業を、国の「放課後子どもプラン」を視野に入れながら検討・実施する。実施にあたっては、地域の育成会や関連団体、地域市民の協力や参加を得ながら小学校施設を活用し、子どもが安心して集い・遊び・学べる場所とするためにプレイヤーを配置していく。 (再掲)3-2-2-(2)、4-4	継続	児童青少年課	継続	地域生涯学習事業、出前児童館との連携を図り、放課後の子どもの安全・安心の活動拠点、居場所事業として「遊びの学校」事業を展開した。
1601				社会教育課	実施	・放課後子供共教室の都補助申請を実施した。 ・学童クラブとの連携を図るため、児童青少年課と協議を行った。
0703	7	屋外の遊び場の充実 西東京市の環境における自然遊び場について検討する。公園の使用にあたっては、子どもの遊び支援グループなどと協働するとともに、プレイヤーの派遣を推進する。 (再掲)4-4	継続	児童青少年課	継続	・民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、近隣の大学や高校に働きかけを行い養成講座を実施した。 ・市内の野外活動系のNPO団体等との連携を図り、児童館を中心とした地域全体で子どもへ遊びを提供できるような仕組みを提供した。
0802				みどり公園課	実施	子供たちが自然に親しむ場として、指定した下保谷四丁目特別緑地保全地区の用地を計画的に取得する。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-2集う・遊ぶ・学ぶ

				22.4月組 組織改正	25年 度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0703	8	<b>プレイヤーの養成と活用(再掲)</b> プレイヤーの育成事業を実施する。また、小学校での「遊びの学校」事業や、地域の子どもの遊び支援グループなどに対する、プレイヤー(子どもの遊びや活動の支援者)派遣事業を推進していく。また、中学生対象の遊びの事業を充実する。 ◆詳細は、1-2-1に同じ (再掲)3-2-2-(1)、4-4		児童青少年課		
1601				社会教育課		
0701	9	<b>中学校の余裕教室を活用した「自習室」事業の検討</b> 放課後や休日の中学校の教室を活用して自習室やグループ学習室への開放事業、地域のボランティアと協力した中学生の自主的活動などを検討する。	新規	子育て支援課	検討	調査検討
1999				関係各課		
1602	10	<b>屋内の居場所の充実</b> 総合体育館やスポーツセンターの個人開放事業を推進する。	継続	スポーツ振興課	実施	スポーツセンター個人開放事業 (バスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球) 総合体育館個人開放事業 (バスケットボール・バドミントン・卓球) きらっと個人開放事業 (バスケットボール・ソフトバレーボール・バドミントン・卓球・社交ダンス) 上記の事業は指定管理者が実施。
0402	11	<b>各地域に小さい拠点(居場所)づくりの推進</b> 「街なかサロン事業」と連携し、市内の店舗や民家等の一角を提供してもらい、談話コーナーやパソコンの設置等により、気楽に情報検索や語らえる場づくりを検討する。 子どもに理解がある地域協力者を募り、家や部屋開放など、地域の中に居場所づくりをすすめる。	新規	産業振興課	未実施	予算措置なし
0701				子育て支援課	検討	調査検討
2002				社会福祉協議会	実施	地域活動拠点の活用。 武蔵野大学の学生の協力を得て、親子の居場所づくりを行う。(街なかサロンにここここで実施) 地域住民による持ち寄り昼食会の中で、高齢者と親子の交流を図った。(芝久保サロンしゃくなげにて実施) 「居場所づくり」を地域の中で実践できる人材を発掘、養成するために開設講座を実施夏！体験ボランティア西東京2013を実施(小学生～社会人 181名参加)
0703	12	<b>出前児童館の充実</b> 地域特性を考慮し、出前児童館事業を推進する。実施に際しては子ども参画を視点に入れ、学童クラブや学校との連携を深めながら内容の充実を図る。 (再掲)4-1-1	継続	児童青少年課	継続	伝承遊びや集団遊び等、地域の特性に応じた出前児童館を実施した。

**子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票**

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-2集う・遊ぶ・学ぶ

				22.4月組 組織改正	25年 度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0403	13	音楽練習室等活用の推進 音楽練習室の子どもによる利用を促進するとともに、施設の拡充を引き続き検討する。	継続	文化振興課	実施	東伏見コミュニティセンターでは、音楽を練習できる集会室の利用の内、約8割が青少年の利用であった。
0703				児童青少年課	継続	市内の高校軽音楽部等へのPRや、新規の発表イベントを実施したことにより、新規利用者の開拓を行うことができた。
1999				関係各課		
1604	14	図書館の子どもスペースの充実 現在の子どもスペースの拡充、グループで談話しながら利用できる場、中高生の参加を得ながら図書館利用を推進する。	継続	図書館	継続実施	共同編集者の人員の確保。 応募者が少なかった際に、市内中学校図書館専門員を通じて直接声をかけ、共同編集者を募った。
1604	15	図書館利用者交流会の検討 カウンターで直接、さらには投書での利用者の意見や要望の反映にとどまらず、選書や運営について意見を聞く場づくりを検討する。	新規	図書館	継続	講座・講演会・展示会開催時に行う利用者アンケート及び投書箱の設置等、の実施。
1604	16	読み聞かせリーダー育成事業の推進 子どもが本に親しみ、読書にいそむきっかけとなる「読み聞かせリーダー」の育成に努める。 (再掲)3-2-2-(1)	継続	図書館	実施 充実	第3期おはなし会ボランティア養成講座(3回)を実施。養成講座受講生の継続的活動支援。 ひばりが丘図書館「ちいさなおはなしひろば」の増会。
0402	17	農業体験の拡充(再掲) 市内農業者の協力により、イベント等を通じて、土とふれあいながら農家の人と一緒に作付けや収穫などを体験できる機会を拡充する。 ◆詳細は、1-2-1 に同じ		産業振興課		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-2集う・遊ぶ・学ぶ

				22.4月組 組織改正	25年 度		
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容	
	0403	<p>子ども向けの芸術・文化・スポーツの振興</p> <p>市民まつり、市民文化祭、市民スポーツまつり、地域や社寺のまつり、各種施設の行事など、各種の催しやイベントを通じて、子どもたちが芸術・文化・スポーツなどに親しみ、体験できるよう、子ども向けの企画・運営を充実する。</p>	継続	文化振興課	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民まつり：都立保谷高校のボランティア参加、警察車両等展示、キックターゲット、キャラクターショーの実施等。ポスター・チラシのデザインについては、小中学生を対象に絵画を募集し、6作品を採用。その他の作品は、谷戸公民館1階に展示。参加者約184,000人。</li> <li>・市民文化祭：碧山小学校、ひばりが丘中学校、都立保谷高校吹奏楽部の参加、田無第一中学校、保谷中学校、ひばりが丘中学校美術作品展示参加、総合プログラムを小中学校の児童・生徒へ配布。来場者約15,300人。</li> <li>・どんど焼：明保中学校、保谷第二小学校、上向台小学校で実施。参加者約4,300人。</li> <li>・平成24年3月に策定した「西東京市文化芸術振興計画」に基づき、小学校における「対話による美術鑑賞」を支える市民ボランティアの育成を開始するとともに、平成26年度からのモデル校での実施に向け、教育委員会との調整及び連携を図った。</li> <li>・多摩北部都市広域行政圏協議会と共催で、「ライブエンタテインメントワークショップ」を小学6年生以上を対象に実施した。</li> </ul>	
	1604			図書館	実施	<p>下保谷児童館・新町児童館との共催おはなし会の実施</p> <p>新町のお祭りへの会場提供</p> <p>田無公民館まつりへの参加</p> <p>芝久保公民館まつり・谷戸公民館まつりへの会場提供継続</p>	
	1603			公民館	継続	<p>主催講座の実施(19講座)</p> <p>「キッズアカデミー〜クラフト体験編」</p> <p>「子どもリズム講座 親子でチアダンスを楽しもう！」、「あなたも声優★ボイスドラマをつくろう！」、「エコ紙トンボ工作」</p> <p>「チェスを楽しむ講習会」、「かぶとむし、クワガタ講習会」、「大切な人に絵手紙を贈ろう 講習会」、谷戸まつり主催事業「バントタイム&amp;風船パフォーマンス」</p> <p>「宮沢賢治の世界」、「青少年ものづくり講座 プロから学ぶアニメーション作り〜」、「親子で陶芸 ランプシェードにチャレンジ」、「夏休み 遊びながら学ぶ環境教室」、「親子で木工に挑戦！世界でひとつのブックエンドづくり」、「異年齢交流講座(折り紙・囲碁・絵手紙)」、「第8回人形劇フェスタin西東京」、「えほんうた・あそびうたライブ」、「子ども音楽講座」、「こわーいお話を聞く会」、「親子でマジシャンになろう！」</p>	
	0701			子育て支援課		検討	検討
	1602			スポーツ振興課		実施	<p>体育の日に市民スポーツまつりを実施。</p> <p>秋に少年野球大会、少年サッカー大会を実施。</p> <p>6月・1月に早稲田大学野球教室を実施。</p> <p>2月のロードレース大会は降雪のため中止。</p> <p>7月に小学生ドッジボール大会3・4年生大会、2月に小学生ドッジボール大会5・6年生大会を実施。(スポーツ推進委員)</p> <p>7月・11月に少年・少女サッカー教室、10月・11月に少年・少女野球教室を実施。(指定管理者)</p> <p>その他各種教室を通年で実施。(指定管理者)</p>

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-2集う・遊ぶ・学ぶ

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	22.4月組 織改正	25年 度
					実績	具体的な取組内容
2002	19	地域活動体験の拡充 青少年育成会等を通じて、子どもたちが地域の環境美化や福祉等のボランティア活動に参加できる機会を拡充する。 社会福祉協議会や地域の人材等と連携することにより、児童・生徒が主体的に取り組むボランティア活動を行い、人と関わる体験を深め、自主性・自立性を高める。	継続	社会福祉協議会	実施	「社会を明るくする運動～あいさつ強調週間」に協力。 市立小中学校正門にて朝のあいさつ運動実施
0703					児童青少年課	継続
1603	20	ものづくり体験の拡充 公民館での子ども向け事業に、子どもたちがものづくりを体験できる企画を拡充する。	継続	公民館	継続	講座の実施(8講座) 「キッズアカデミー～クラフト体験編～」 「エコ紙トンボ工作」 「青少年ものづくり講座 ～プロから学ぶアニメーション作り～」 「かぶとむし、クワガタ講習会」 「親子で陶芸 ランプシェードにチャレンジ」 「夏休み 遊びながら学ぶ環境教室」 「親子で木工に挑戦！世界でひとつのブックエンドづくり」 「異年齢交流講座」(折り紙・絵手紙)
0403	21	各国の子どもが集える事業の検討 参加者の企画参加による、留学生と高校、大学、社会人を対象とする「多文化交流キャンプ」の検討と宿泊型キャンプ等を通じた国際理解の推進を図る。 地域の人々と各国の子どもたちや子育て家庭が集える祭り事業などを、既存のイベントの活用を図りながら検討する。	新規	文化振興課	なし	実績なし
0701				子育て支援課	検討	調査検討
0403	22	青少年海外派遣事業の検討 青少年が世界に目を向け国際理解が進むように、青少年海外派遣事業を検討する。	新規	文化振興課	情報収集	派遣先や交流のあり方について各方面から情報収集を行った。
0701				子育て支援課	検討	調査検討
0802	23 (再掲)4-4	身近にある公園や広場、校庭などが子どもにとって魅力的な場所になるよう、ミニバスケット、フットサルなど、気軽にできるスポーツの場の設置を推進する。	継続	みどり公園課	検討	検討
1602				スポーツ振興課	実施	健康広場、芝久保運動場個人開放事業(指定管理者)を実施。
0703				児童青少年課	継続	ハード面の設置までは至らなかったが、遊戯室の利用を時間で区切るなどして、他種目のスポーツの実践に努めた。

**子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票**

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-2集う・遊ぶ・学ぶ

				22.4月組 組織改正	25年 度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0302	24	おとな利用が中心となる施設に子どもの遊び場併設の検討  おとな利用が中心となる公共施設に、子どもの遊び場の併設を検討する。	新規	管財課	実施 検討	保谷庁舎については、子供が市民広場の芝生で自由に遊べるようになっている。 田無庁舎については、昨年度と同様検討を継続した。
0403				文化振興課	実施	・芝久保地区会館：児童館併設 ・南町・緑町地区会館、東伏見コミュニティセンター：簡易図書室（個人利用可） ・コール田無：ピッコロ広場併設 ・西東京市民会館：夏季期間、学生に向けた学習室の拡大開放
1603				公民館	実施	ロビーを自由に使って、子供同士の歓談や自主学習等は、既に行われている。
1999				関係各課		
1602	25	「総合型地域スポーツクラブ」事業の推進  子どもたちが放課後や休日に、公共施設や学校施設等でスポーツを楽しめるよう、「総合型地域スポーツクラブ」事業を推進する。	継続	スポーツ振興課	実施	補助金の交付や、市報を通じてクラブ（にしはらスポーツクラブ、コスポ東伏見）の事業をPRするなど、クラブの活動支援を実施。

## 子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2 子ども自身の参画への支援

1-2-3 子どもと情報

				22.4月組 織改正	25年 度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
701	1 重-2	子ども参画による広報紙づくりの検討 公民館、図書館などの広報紙の取材や紙面づくりへの子ども参加を検討する。	新規	子育て支援課	検討	検討
1603				公民館	調査 検討	市内中学生9人が職場体験の中で、公民館だより編集室会議に出席し、川柳選考にも参加した。
1604				図書館	継続 実施	共同編集者の人員の確保。今回応募者が少なく、市内中学校図書館専門員を通じて直接声をかけ、共同編集者を募った。
0103	2 重-4	市報や市のホームページの子ども向け情報の充実 子どもにとって読みやすい市報づくりと子ども向け情報の充実、さらには市のホームページの「キッズページ」を拡充する。	継続	秘書広報課	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当課より子ども向け原稿の依頼があった場合は、事業写真やイラスト等を使い子どもたちの目に付くような紙面を心がけた。</li> <li>・ホームページでは、前年に引き続き夏休みの時期に「夏休み子ども向けイベント情報」を設置、夏休み特集コーナーを作成し、バナーを掲載した。</li> <li>・市ホームページ全体をスマートフォン対応とした。（キッズページ含む。）</li> </ul>
1999				関係各課		

## 子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2 子ども自身の参画への支援

1-2-3 子どもと情報

				22.4月組 織改正	25年 度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
0103	3	<b>子ども向け情報提供方法の検討</b> 西東京市のホームページ等とリンクした子ども向けホームページの充実や、子どもへの広報を拡充する。 インターネット等で子ども向け情報を子どもたちが収集しやすいように、学校など子どもの身近な場所にパソコンを設置するように努める	継続	秘書広報課	実施	・市ホームページ全体をスマートフォン対応とした。(キッズページ含む。) ・ホームページでは、前年に引き続き夏休みの時期に「夏休み子ども向けイベント情報」を設置、夏休み特集コーナーを作成し、バナーを掲載した。
1501				教育企画課	継続	教育委員会の広報「西東京の教育」において小・中学生の取材・執筆による「子ども記者コーナー」や「新・子ども記者コーナー」の記事を年度内発行の58号から60号まで掲載した。
1503				教育指導課	実施	・学校のホームページに関する教員対象の研修を実施して、教員のスキルアップを図った。 ・教員研修において引き続き「情報モラル教育」に関する研修を実施し、授業実践できるようにスキルアップも含めて教員の資質向上に努めた。
0701				子育て支援課	検討	調査検討
1503	4	<b>情報化社会に対応した子どものためのメディアリテラシー教育の推進</b> 教科の学習や総合的な学習の時間でのコンピュータの活用など、多様な情報機器を活用した学習を推進するとともに、子どもと青少年が各年齢層に見合った方法で必要な情報に適切にアクセス・発信できるように、その成長発達段階に応じたメディアリテラシーの育成を推進する。 (再掲)4-3	継続	教育指導課	実施	・情報教育担当者連絡会を年間2回実施し、情報教育の充実を図った。また、引き続き調べ学習や総合的な学習の時間では、各学校の指導計画に従って、コンピュータを活用して指導を実施した。 ・各学校の実態に応じて、情報教育年間指導計画に基づいてメディアリテラシーの育成を図るために計画・指導の改善充実を図った。
0403	5 重-4	<b>すべての子どもに必要な情報を届けるしくみの整備</b> 日本語を母語としない子どもや、障害のある子どもが必要な情報にアクセスしやすい方法やしくみについて検討する。	新規	文化振興課	実施	平易な日本語及び英語・中国語・ハングルによる生活便利帳を発行した。4,000部。 市報から必要な情報を抜粋し、平易な日本語及び英語・中国語・ハングルで毎月1回「くらしの情報」を発行した。毎月560部。
1999				関係各課		

## 子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-3子どもと情報

				22.4月組 織改正	25年 度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な取組内容
1503	6 重-4	<b>有害情報からの子どもの保護</b> 有害情報から子どもを保護するための方策やシステムを検討する。	新規	教育指導課	実施	各校で、セーフティ教室や総合的な学習の時間等において、情報教育の一環として、有害情報に関する指導を実施した。東京都教育委員会が実施している「学校非公式サイト等の監視」結果を各校に送付し具体的な地頭として活用を図った。
0703	6 重-4			児童青少年課	継続	東京都が作成しているリーフレット等を窓口を設置した。児童館利用の児童との会話の内容により適宜話をしている。